



そお小学校

教師と保護者の信頼関係を深める 学校運営協議会！

文部科学省は、次期教育振興基本計画について（答申）＜令和5年3月＞の中で、今後の教育政策における総括的な基本方針として「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を大きく取り上げています。その中で、「子供たちのウェルビーイングを高めるためには、教師のウェルビーイングを確保することが必要であり、学校が教師のウェルビーイングを高める場であることが重要である。子供の成長実感や保護者や地域との信頼関係があり、職場の心理的安全性が保たれ、労働環境などが良い状態であることなどが求められる。」と述べています。

※ウェルビーイングの実現とは …多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなること

本号では、教育活動と学校運営協議会を融合させ、教師と保護者と地域住民の信頼関係を深めている そお小学校の実践を紹介します。

【6/24(土)9:40~12:10の実施】

① 授業参観(人権教育)

- 1年…だれにでも おなじように
- 2年…いいところ みつけた
- 3・4年…わたしのよいところ
- 5・6年…思いやりの心
- ひまわり…あたたかい言葉



教師と子供の温かい言葉のやり取り、友達の意見を否定しない雰囲気 …保護者や学運協委員に伝わっていました。

体を向けて、友達の意見をしっかり聞いているな。 <保護者>

自分の思ったことを自由に話している感じだな。 <保護者>

先生、絵がめっちゃ上手だね。 <小学生>



ありがとうございます。ほめてもらって嬉しいよ。 <教師>

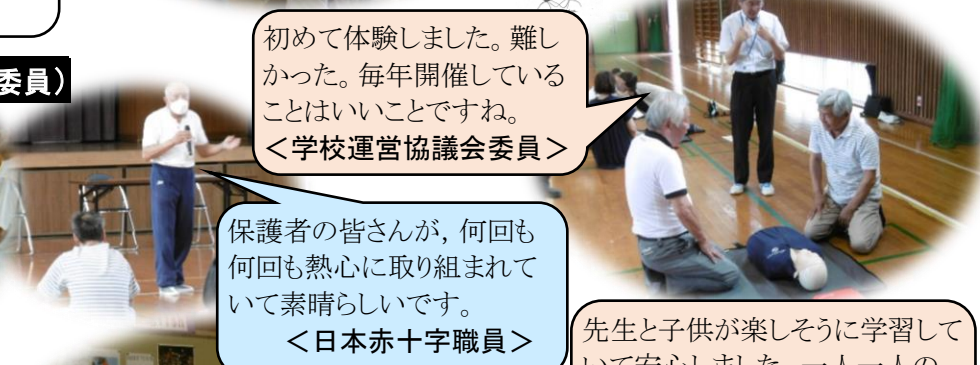
② 蘇生法講習会(保護者,学運協委員)



初めて体験しました。難しかった。毎年開催していることはいいことですね。 <学校運営協議会委員>

保護者の皆さんが、何回も何回も熱心に取り組まれていて素晴らしいです。 <日本赤十字職員>

先生と子供が楽しそうに学習していて安心しました。一人一人の子供を大切にしている様子がよくわかりました。 <保護者>



③ 学校運営協議会



90%以上の保護者の皆様に蘇生法講習会に参加いただきました。保護者や地域の皆様、授業などの子供や教師の姿を見てのご意見やご感想をお願いします。 <校長>



信頼関係をつくる出発点は、互いを知ることにあります。週休日開催、授業や様々な教育活動の公開、複数の保護者との協議など時間と空間を共有する工夫がされています。

